

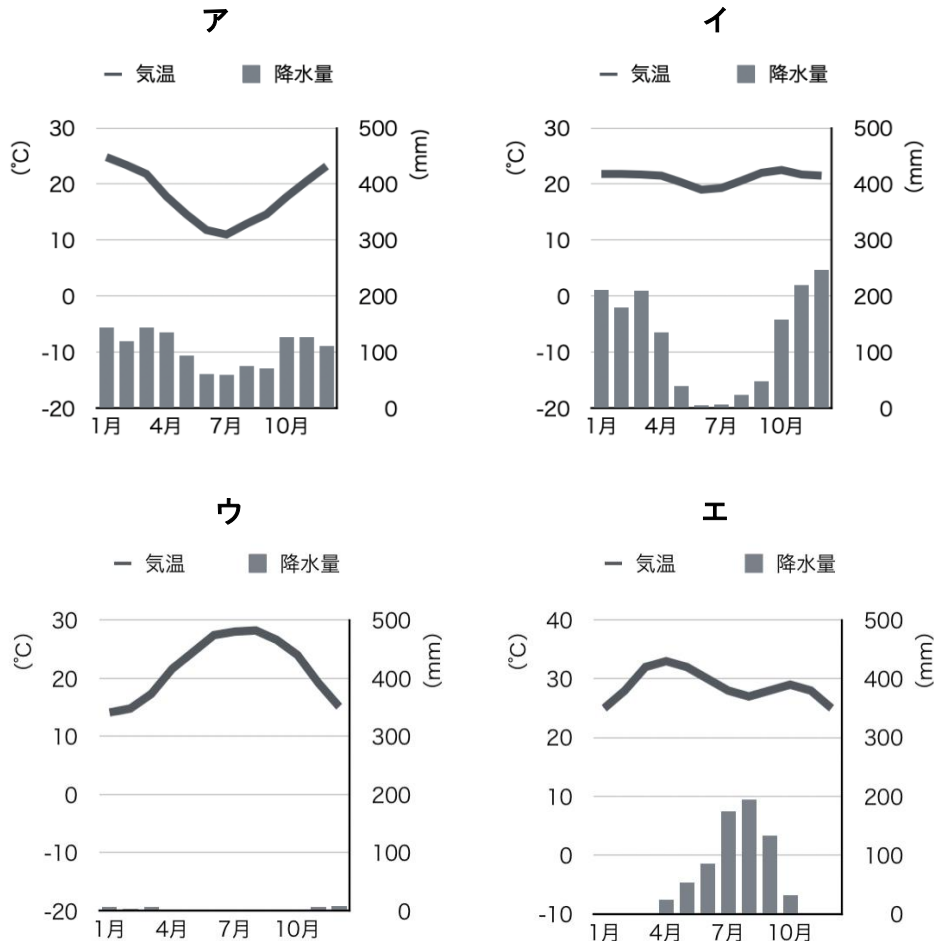
1 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

私たちが生きていくために、水はなくてはならないものです。現在、世界には76億人がいると言われていますが、水資源をめぐる状況は私たちの想像をこえて深刻です。地球上の位置によって降水量に差があり、さまざまな要因により衛生的な水を安全に手に入れない人が、世界で約11億人いると言われています。例えば、アフリカのサハラ砂漠の南に広がる「サヘル」と呼ばれる地域にある(1)ブルキナファソという国では、かんがい施設が整わず、水の確保を雨水にたよっている地域がありますが、近年は干ばつによる水不足が深刻化しています。

私たちの住む日本列島はその大部分があたたかな温帯に属し、世界の国々にくらべても降水量がきわめて多いという特徴があります。水は日本列島では比較的豊富に手にはいる優れた資源であり、生活に必要な用水の他にも、(2)ダムを活用した(3)発電等にも利用されています。

私たちの生活の中で、水をどのように使用しているのか、一度振り返ってみるのも良いでしょう。例えば、食器を洗う際に油汚れをふき取ったり、シャワーのお湯をこまめに止めたりすることは、私たちの住む(4)地球環境を守ることもつながるのです。

問1 文章中の下線部(1)について、下のAさんの話を参考に、ブルキナファソの雨温図として正しいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。



ブルキナファソに住むAさんの話

私たちの国は赤道の近くに位置し、月の平均気温は常に20度以上の暑い国です。時には月の平均気温が30度をこえることもあります。雨が降る時期は決まっていますが、降水量が0ミリという時期もあります。近年は降水量が減り、農業が行えなくなる土地が増えて大きな問題になっています。

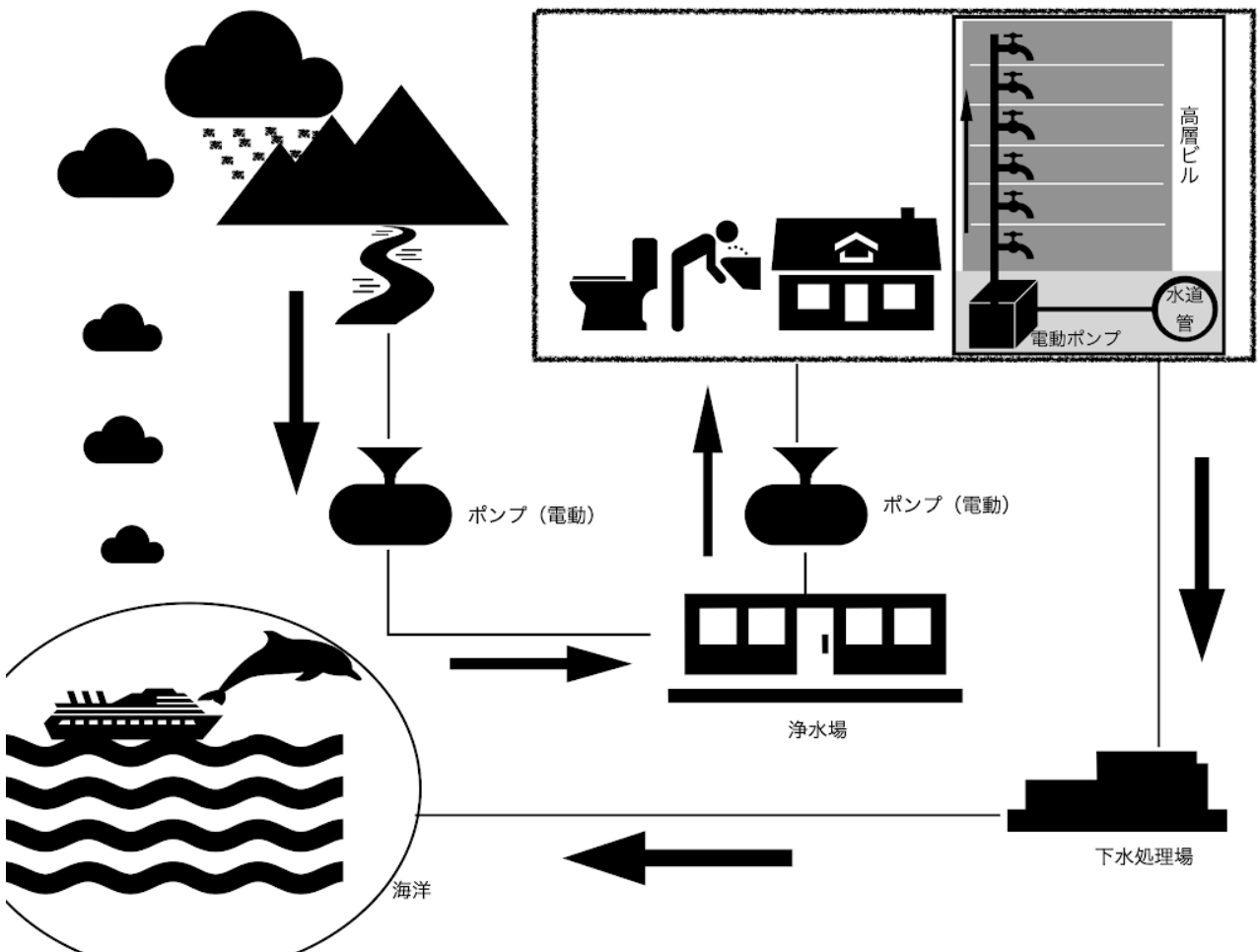
問2 文章中の下線部(2)について、発電以外にダム役割を2つかんたんに説明しなさい。

問3 文章中の下線部(3)について、次の資料は日本の水力発電所による発電量(揚水式を除く)を示しています。発電量が月によって変化している理由を考え、答えなさい。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
発電量	4,102,006	4,198,874	5,267,264	5,505,023	7,170,312	7,224,916
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
発電量	8,691,141	7,655,249	6,418,045	6,030,008	4,614,990	4,747,407

(2019年発電実績, 単位 1000kWh, 資源エネルギー庁 HP より作成)

問4 文章中の下線部(4)について、日本に住む私たちが日常で節水を心がけることは、二酸化炭素の排出量をおさえることにつながります。下図を参考にその理由を考え、答えなさい。なお、図中の→は水の流れを表しています。



2 次の資料を読み、以下の問いに答えなさい。

資料 A

将軍の家来である旗本（御家人）が将軍の代ごとに増えてきた。幕府の年貢収入も前よりは多くなってきているが、旗本・御家人たちへの給料となる米の他、その他の主な幕府の支出と比べると、結局年々不足となっている。（中略）今年になって給料となる米の支給も難しく、政治にも支障が出るほどである。そこで、代々の将軍からは御命令されなかったことではあるが、一万石以上の大名から米を幕府に差し出すように将軍がお考えになった。大名は石高一万石について米百石を収めること。・・・その代わり、参勤交代の江戸滞在期間を半年だけ免除することにするから、ゆっくり休息するようにと命令された。

（享保七年七月 御触書寛保集成）

資料 B

商売が不自由・不公平で、利益を得ているものは（あ）に入っている者ばかり。一般の商人の利益は少なくなっている。

（「下駄屋甚兵衛上書」）

問1 資料 A について、以下の問いに答えなさい。

- ① 下線部の将軍の名前と、彼が行った一連の政治改革の名前を漢字で答えなさい。
- ② この命令は「上米の制」と呼ばれています。どのような理由でどのような命令が出されたのか、資料を参考に説明しなさい。
- ③ この将軍は年貢の取り方をそれまでの検見法から定免法へ改めましたが、農民にとっては時に生活が苦しくなることもありました。下の資料を参考にその理由を考え、答えなさい。

検見法			→	定免法		
豊作	通常	凶作	収穫	豊作	通常	凶作
100石	80石	60石		100石	80石	60石
50石	40石	30石	年貢	40石	40石	40石

問2 資料 B について、以下の問いに答えなさい。

- ① 資料中の（あ）に入る言葉を漢字で答えなさい。
- ② 資料は田沼意次の時代についてのべています。彼は幕府の財政を改善するために、それまで幕府が重視してきた年貢を重視する方針を変えましたが、その方針について正しく述べたものを次から選び、記号で答えなさい。

あ 幕府は商人たちに同業者組合を作らせ、彼らの利益を確実にすることで物価を下げようとした。

い 幕府は商人たちの同業者組合を解散させ、たがいにきそわせて物価を下げようとした。

う 幕府は商人たちに同業者組合を作らせ、彼らの利益を確実にすることで税を取ろうとした。

え 幕府は商人たちの同業者組合を解散させ、たがいにきそわせて税を取ろうとした。

3 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

A さん；フランスで表現の自由をめぐる対立が深刻になってきています。

B さん；フランスの新聞がイスラム教の指導者を風刺画で表現しました。その新聞を見て、イスラム教を信じる人々の一部が怒っているとニュースで見ました。

C さん；風刺画とは何ですか？

B さん；世の中の何かを遠回しに批判するために、一部大げさに描かれた絵のことです。自分たちの宗教を大切にされていないと感じた人が怒る理由もわかります。

A さん；そもそもイスラム教では神や指導者を絵などに表現することが禁止されています。一方でフランスでは、革命によってかく得されてきた人権をとっても大切にする考え方があります。

C さん；表現の自由は基本的人権のうちの、(1) 自由権の一部ですね。

B さん；表現の自由は私たちにとってとても重要です。フランスでは今後、(2) 表現の自由は制限されるのでしょうか。

A さん；それはまだわかりませんが、今回は(3) 表現の自由と宗教を信じる自由がぶつかった例といえるでしょう。私たちはフランスの今後を注意深く見守っていく必要があります。

B さん；私たちの社会を見回しても、表現の自由が問題になるケースが出てきています。表現の自由はどこまで許されるものなのか、私たちも考えてみる必要がありますね。

問1 文章中の下線部(1)について、次のうち、自由権にふくまれないものを選び、記号で答えなさい。

- あ 自分のつきたい職業につくことができる。
- い 国民として、最低限度の生活をいとなむことができる。
- う 学びたい学問を自分で決めることができる。
- え 今住んでいるところから、引っ越し先を自分で選ぶことができる。

問2 文章中の下線部(2)について、表現の自由が制限されると、どのような問題が起こりうるのでしょうか。具体例をあげて説明しなさい。

問3 文章中の下線部(3)について、このように「表現の自由」が他者の権利とぶつかるケースは、私たちの周りでも日常的にみられます。あなたの身近で起こっているケースを取り上げ、説明しなさい。

白紙のページ

白紙のページ